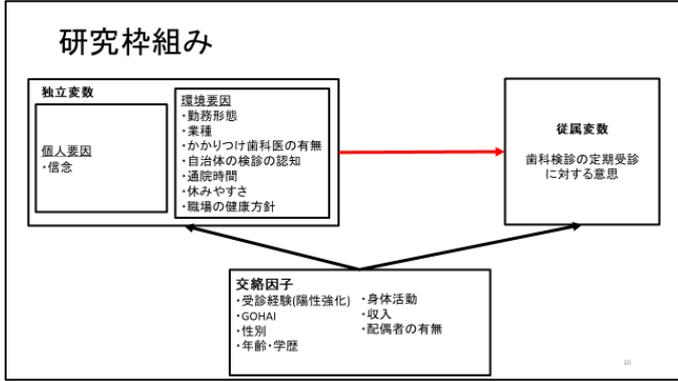


2023年度 独創的研究助成費 実績報告書

2024年 3月 11日

報告者	学科名	看護学科	職名	准教授	氏名	名越 恵美
研究課題	労働世代における歯科検診の定期受診の関連要因					
研究組織	氏名	所属・職	専門分野	役割分担		
	代表	名越 恵美	看護学科・准教授	成人看護学	研究統括、実施、成果発表	
	分担者	實金 栄 犬飼 智子 二宮 杏珠 河畑 匡法	看護学科・教授 看護学科・助教 大学院博士前期課程 川崎医療短期大学・助教	老年看護学 成人看護学 公衆衛生 成人看護学	データ分析 データ収集 実施、成果発表 データ分析	
研究実績の概要	<p>【はじめに】健康寿命の延伸に向けた全身の健康の保持のために、歯科検診を定期受診し、口腔内のQOLを保つことが、保健の観点から重要である。歯科検診は、予防保健事業として全ての年代を対象に行われているが、成人期では課題改善が見られていない。成人期は、職場に所属している割合が過半数を占めているため、個人要因と環境要因の両側面から、歯科検診の定期受診の関連要因について明らかにする。</p> <p>目的:労働世代の歯科定期健診受診に関連する要因を明らかにする。</p> <p>意義:労働世代の歯科口腔保健に関する健康教育や定期検診受診推進のための示唆を得る</p> <p>【方法】対象者は18歳以上のフルタイム勤務の労働世代1115名。データ収集方法はA県内商工会議所等に研究協力を依頼し、無記名自記式質問紙を配布、回収は、郵送またはWEBで行った。調査項目は基本属性、歯科検診受診に関する健康信念モデル(7項目)などである。分析は、記述統計及びロジスティック回帰分析を行った。倫理的配慮として岡山県立大学倫理委員会の承認(受付番号22-80)を得た。</p> <p>【結果と考察】327件回収、282件を分析対象とした。平均年齢は47.5歳であった。ロジスティック回帰分析の結果、今後歯科検診を定期受診する意思と環境要因は有意差が見られなかった。</p>					



<p>研究実績 の概要</p>	<p>歯科検診は、予約受診となる場合が多く時間や環境に関係なく通院できることから、関連が見られなかったと考える。しかし、職場での検診は貴重な機会であるため、職場で歯科検診が実施されることで、より受診率向上が期待できる。個人要因として、パートナー・配偶者の有無、現在の歯科検診定期受診、歯科受診時の褒められる経験、健康信念モデルの利点、重大度の認識、障壁に有意差が見られた。歯科検診やオーラルケアに対する意識が低く、周囲の関心も低いことからパートナー・配偶者からの後押しが弱いと考える。また、歯科で褒められた経験により、口腔内の健康管理の成功体験を得ることは、向上心を芽生えさせ、今後の受診継続への意思を高める可能性がある。さらに、歯科検診受診の利点の理解が歯科検診を受診する意思を高め、重大度として歯科疾患発見の不安や障壁として検診の費用負担の不安が歯科検診受診の意思を低くすると推測された。</p> <p>【結論】 歯科検診を定期受診することの利点の認知を高め、不安の払しょくにより障壁を下げることで、歯科検診を定期受診する意思が高まることが示唆された。また、歯科でのポジティブな声掛けにより今後の歯科検診受診を継続する意欲が高まることが示唆された。</p> <p>日本看護研究学会第 36 回地方会学術集会にて「成人期の口腔保健に関する国内文献の検討」を 2024 年 3 月にポスター発表する。</p> <p>今後の予定として、演題名「労働世代における歯科検診の定期受診の関連要因」を日本地域看護学会大 27 回学術集会にエントリー中である。</p> <p>2024 年 6 月に発表予定。</p> <div data-bbox="376 1055 935 1402" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p><b>実践への示唆</b></p> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>現在歯科検診を受診していない労働世代に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科検診を受診することに対する利点や歯科疾患に罹患するという重大度を感じてもらえるような働きかけ</li> <li>・ 職場での実施や定期健康診断と歯科健診を同時に実施できるシステムの構築</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>現在歯科検診を受診している労働世代に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康への関心が高く、すでに検診受診行動が確立している → その部分を称賛し、自尊感情を高める</li> <li>・ 歯科でのポジティブな声掛けは歯科医だけでなく、ブラッシング指導などで関わる歯科衛生士からも積極的にを行うように促す</li> </ul> </div> </div>
<p>成果資料目録</p>	